

「雑草イネ(赤米)」の混入にご注意ください！

令和8年 長野農業農村支援センター

雑草イネ(赤米)とは、玄米が赤褐色の雑草化した「イネ」です。
紫米などとは異なり、簡単に脱粒します。

雑草化していても「イネ」のため、
通常対策ではうまく減らすことができず、防除にはコツが必要です。
通常玄米に混ざることによって品質を落としたり、減収させてしまいます。



ノゲが赤く色づいている



玄米の色は褐色



籾が褐色を帯びるものも

雑草イネの怖いところ…

- 数年で一気に広がり栽培イネの品質・収量が低下します
地面に落ちた籾は、翌年の発生源。放っておくと数年でほ場一面に広がります。
- 一度広がると根絶が困難
地域内で広がると、絶やすまでに長い年数と多大な労力が必要となります。

雑草イネの対策は…？

- 発見したらすぐに対策！
一度広がると、絶やすまでに長い年数と多大な労力が必要となります。
- 秋起こしはしない
収穫後、秋の田起こしはしません。地面に落ちた種を冬の低温で凍み枯します。
- 代かきは丁寧に 移植時期は遅めが良い
複数回の丁寧な代かき、6月以降の移植が、雑草イネ対策には効果的です。
- 効果のある除草剤を使用する
「効果のある除草剤」は、JAや支援センターに聞きましょう。
効果のある除草剤を、代かき直後から7～10日間隔で3回使用します。
- 発生している田んぼの作業は一番最後にする
発生拡大を防ぐために、機械等を通じて種を他の田へ持ち込まないようにする。

雑草イネを見つけたら、
右記へご連絡をお願いします。

お問い合わせ先
長野農業農村支援センター
TEL:026-234-9536

